

平成29年度 県立宝塚高等学校 第55回生入学式式辞

華やかな出発を祝う今日の佳き日を待ちかねたように、校庭の桜の花が満開となりました。

本日は、宝塚市議会議長 石倉加代子様はじめ、多数のご来賓、保護者の皆様のご臨席を賜り、兵庫県立宝塚高等学校第五十五回入学式を挙行できますことを心より感謝申し上げます。

ただいま入学を許可しました二百八十名の皆さん、ご入学おめでとうございます。

本校は、昭和三十八年に、宝塚市内で初めての高等学校として開設され、今年は、創立五十五周年の節目の年を迎えます。卒業生は一万七千人を超え、地域だけでなく、国内外にも高い評価を得る伝統校として発展してまいりました。そしてさらによい学校となるよう、「人づくりの県宝」を教育理念として、より丁寧でバランスのよい教育活動を実践し続けています。

本校の校訓には三つの言葉があります。

一つは、『剛健中正』（ごうけんちゅうせい）です。これは「身も心も健やかであれ」という意味です。

二つ目は、『誠意正心』（せいいせいしん）です。これは「正しい心で何事にも一生懸命であれ」という意味です。

三つ目は、『明朗闊達』（めいろうかつたつ）です。これは「明るく活発にリードをとれ」という意味です。

「一日一日を真剣に、何事にも心を込めて一生懸命に努力を続ければ、その積み重ねが立派な人間を形成していく」という思いが込められています。

今、世の中は激しく変化し、人々の価値観が多様化するとともに、社会はグローバル化が進み、人工知能やロボットの進化により職業や雇用の変化など未知の課題にも直面しています。皆さんは、将来、どんなに社会が変化しようとも、その時代を力強く生き抜いていかなければなりません。県宝での三年間で、社会人としてしっかり生きていくための基礎力を身につけ、自分で考えて自分で判断し行動がとれる自立した人間に育ってほしいと願っています。学習、学校行事、部活動、進路選択、どんなことでも、目標に向かって全力で努力し続けて、同じ県宝の仲間とともに切磋琢磨しながら自分自身を高めてください。

本校では皆さんの成長のための仕掛けをたくさん用意しています。県宝生として、それらに取り組むことで、自分の中に眠っている限りない可能性を探り当て、自分を大きく成長させてください。

終わりになりましたが、保護者の皆様、お子様のご入学、誠におめでとうございます。私どもに寄せられている大きな期待をしっかりと受け止め、お子様の成長にとって何が大切なのか、何が必要なのかを共に考えながら、教職員一同、一丸となってお子様一人ひとりの自己実現のために努力を惜しまない所存でございます。どうか、本校の教育にご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

入学生の皆さんの限りない可能性を祝し、式辞といたします。

平成29年4月10日

兵庫県立宝塚高等学校長 下野厚子